

# 学校教育推進事業

## 1. 国語力向上事業

### (1) 学校図書館司書

市立小中学校の司書教諭と連携し、貸出業務のほか、読み聞かせ、調べ学習(学習資料の活用)等の図書活動の補助をする学校図書館司書(10人)を市立全小中学校に配置し、児童生徒の読書活動を推進した。

### (2) 言葉きらめき祭

言葉の美しさや表現の多様性に触れたり、自分の考えや気持ちを適切に表現したりすると同時に、郷土に対して目を向け、大切に思う気持ちを持つ子どもを育成するため、市内全域で子どもたちの豊かな言葉の力を育成する機会として「言葉きらめき祭」を開催(期日:平成27年9月19日 テーマ:自分の言葉で伝え合おう 発表者数:63組91人)した。

## 2. 英語教育推進事業

### (1) 外国人英語指導員による英語指導事業

国際理解教育の一環として、市立全小学校が教育課程特例校として申請し、5・6年生は週1回、1~4年生は隔週1回(天野小学校・高向小学校は週1回)の外国語活動を実施した。授業は学級担任と外国人英語指導員とのチームティーチング(複数の教師が協力して教育指導にあたる方式)で進め、「聞く」「話す」活動を中心として、コミュニケーション能力の育成に努めた。

市立各中学校においては、国際化時代に対応できる生徒の育成をめざして、英語のSpeaking・Listening能力の向上とともに外国文化などへの興味・関心を幅広く高めることを目的として、英語科において、学級担任と外国人英語指導員とのチームティーチングによる授業を実施した。

### (2) イングリッシュフェスティバル

日頃の学習の成果を踏まえ、児童生徒たちが自らの意見を英語で発表する機会(詩の朗読、歌、暗唱、スピーチ、プレゼンテーションなど)として、市内4高等学校との共催で「第12回河内長野イングリッシュフェスティバル」を開催(期日:平成27年10月3日 発表者数:135人)した。

### (3) イングリッシュサロン

日本人教員と外国人英語指導員とが英会話やワークショップでの活動を通して、児童生徒の指導について共通理解を図り、今後の授業の円滑な実施をめざすとともに、英語教育、英語活動のさらなる充実のために日本人教員が外国人英語指導員と英語によるディベート、ディスカッションなどを行い、実践的な英会話能力の向上を図ることを目的にイングリッシュサロンを開催(期日:平成27年8月5日 参加者数31人)した。

### (4) イングリッシュキャンプ

児童が普段の学校生活とは異なるレクリエーション活動や生活体験活動(買い物、調理)等を外国人英語指導員と共に行い、英語を用いてコミュニケーション能力を磨くイングリッシュキャンプを実施(期日:平成27年8月25日~26日 参加者数:36人)した。

## 3. 情報教育推進事業

教員が使用する教育研究用パソコンを各校に設置し、情報教育をはじめ、授業や教材づくり等に活用した。

## 4. 小中一貫教育推進事業

義務教育9年間の連続した学びの実現、小学校と中学校のスムーズな移行を図るため、めざす子ども像の共有化、小中乗り入れ授業、小中一貫連続カリキュラム(つながりアップカリキュラム)作成、小中合同行事、ふるさと学(小学5年~中学1年にかけて自然、歴史、伝統文化等の視点から地域のよさを学び考える)、小学校英語活動と中学校英語をつなぐ一貫性のある指導、小学校高学年から交換授業を含めた一部教科担任制、各校への小中一貫コーディネーター配置による小中一貫連絡会・成果報告会開催、小中一貫した生徒指導、小中一貫教育にあたる教員の授業時間軽減のための非常勤講師(マイタウンティーチャー)の配置を行った。

## 5. キャリア教育推進事業

中学2年生が「社会において働くことの大切さや仕事の厳しさ、自己の適性を考えることなど」を目的として職場体験学習を実施(参加者数:953人 事業所数:延べ308箇所)した。